

井原市の子どもたちの学力は？

全国学力・学習状況調査の結果速報

小学校では基礎知識を問うA問題が国語、算数とも県平均を上回りました。中学校では、国語、数学ともA問題もB問題も県平均を上回りました。小学校も中学校も全国との比較においては、改善の余地があります。

特徴的な点は、

○小学校算数 数と計算の領域が全国平均を超えた。

○中学校数学 数と式の領域が高い値だった。

○中学校国語 言語についての知識・理解・技能が全国平均を超えた。

(平均正答率の差 単位：ポイント)

小学校	国A	国B	算A	算B
全国との比較	-0.9	-3.1	0.5	-2.7
県との比較	0.6	-2.1	0.8	-1.1
中学校	国A	国B	数A	数B
全国との比較	0.2	-2.4	-1.6	-3.1
県との比較	1.4	0.5	0.4	0.8

基礎基本の定着を重視した取り組みの成果や、子どもたちのがんばりが表れています。

放課後学習

結果を受けて

授業改革

学校での取り組み

各小学校で実施形態を工夫して取り組んでいます。一学期の間に、全児童の約四割にあたる七百八十七人(実人数)の児童が参加しました。



実感できるような工夫をしています。

二期期の良さを生かした二期制の中で、分けることができる授業づくり
①めあて(目標)を示す
②自分で考え表現する時間を確保する
③目標の達成度を確認する
④学習内容をまとめる
⑤授業の振り返りをする
一時間の授業の中に「できる喜び」「考える楽しさ」を実現できるような工夫をしています。

確かな学力を高める取組

学校・家庭・地域が連携して

地域土曜学習

がんばってるね。
応援してるよ。



地域の方や教員OB等の協力のもと、土曜日に公民館等を使って学習しています。学校と地域の連携を深めています。昨年度三校から始めて、今年度は、市内全小学校が取り組んでいます。

学校支援地域本部

参加校
大江小・県主小・木之子小・荏原小・西江原小・野上小・井原小・美里中



住民が学校を支援する活動を通じて、学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子育てをしています。

健やかな成長のために
・青少年を育てる会
・放課後児童クラブ
・家庭教育学級
・少年団活動
・子ども会活動
・スポーツ少年団
・地域体験活動等



多くの方々の支えの中、子どもたちはすくすく育っています。日々ご支援ありがとうございます。

創刊にあたって

「ともなび」は共に学び、ともにナビゲーターとして井原の教育を推進し、井原市の教育の在り方や現状を分かりやすく伝えてまいります。皆様の声をお聞かせください。



井原市 教育長 片山 正樹

子どもたちの学習習慣や生活習慣は？

小・中学校 (全国との比較) 抜粋 単位:ポイント

・今住んでいる地域の行事に参加している

14.8

小学校 (全国との比較) 抜粋

・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり2時間以上勉強する

-5.6

・友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である

-5.5

中学校 (全国との比較) 抜粋

・学校の授業時間以外に、1日あたり2時間以上勉強をしている

-16.7

・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり2時間以上勉強する

-16.5

・普段、1日当たり2時間以上テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりする

9.5

結果を受けて

学習の基本は生活リズムから

いばらっ子生活リズム向上プロジェクト

～食べて 動いて よく寝よう！～

幼児・児童・生徒の実態を知ることにより、子どもたちの抱える問題点を把握して、基本的生活習慣の定着・生活リズムの向上と改善に取り組み、子どもの意欲や学力・体力の向上、情緒の安定を図ることを目的にしています。



早稲田大学
前橋明教授の講演

親子ふれあい体操



リーフレット

家庭・保護者の皆様をお願いしたいこと

① 家庭学習の定着の推進

メディアの時間をきめて、子どもたちが家庭学習のできる環境を整えましょう。

② やる気を育てる

可能性を心から信じ、「君ならできる!!」。励ましながら、挑戦させましょう。

③ 子どもと話を

日常の過ごし方や将来の希望などを親子で話し合ひましょう。

④ 生活リズムを整える

早寝・早起き・朝ごはん・朝うんちの習慣を身に付けましょう。

いばらぎとしょうがんおトク情報

井原市内の図書館は赤ちゃんから大人まで、みんなにやさしい図書館を目指します！

井原図書館には、1階エレベーター前に、「育児応援コーナー」があります。図書館の通常の分類では分かれてしまっ、しつけ、子どもの食事やおやつ、インテリア、健康など育児に関する本をまとめて置いてあるので、探しやすいと好評です。中高生にはライントノベル、また、朗読CD、大活字本などさまざまな資料を集めています。

芳井図書館では、貸出力ウスターに赤ちゃんを座らせておくベビーキープを設置するなど、赤ちゃん連れの方にも図書館を気軽に利用していただけるようにしています。また、井原図書館、美星図書館でも同様の工夫をしています。美星図書館は、子育て中のお母さんに読んでもらいたい本をたくさん買っようとして



▲井原図書館 エレベーター前育児応援コーナー



▲芳井図書館 貸出力カウンターのベビーキープ

います。小中学生に人気の本もたくさん購入しています！「ゆつたりと過ごせる隠れ家的存在」というファンもいます。

読書の秋、普段図書館を利用している人もいない人もぜひ図書館に足を運んでみてください！

井原図書館	62-0822
芳井図書館	72-1702
美星図書館	87-3123



▲美星図書館 ゆつたりスペース

いばらぎまめ知識 第1回

この瓦、よく見ると何かの文字が入っています。「聖」と「園」の文字が見えますか。



この瓦は聖園尋常高等小学校（せいえんじんじょうこうとうしょうがっこう）（現共和小学校）の校舎で実際に使われていた鬼瓦（おにがわら）です。

小学校が日本全国に作られたのは明治5年（1872）ですが、聖園小学校は明治6年、現在の芳井町下嶋（しもしぎ）につくられました。

「聖園」の由来ですが、学校の西にそびえる聖嶽（ひじりだけ）をもとに命名したと伝えられています。この校名は昭和2年（1927）に上嶋（かみしぎ）尋常小学校と合併し共和小学校が誕生するまで使われていました。

当時の小学校には尋常科（じんじょうか）と今の中学校にあたる高等科（こうとうか）があり、聖園尋常高等小学校には下嶋だけでなく現在の三原小学校にあたる後洞（こうちょう）小学校や高梁市川上町・備中町などからも進学していました。明治36年（1904）には児童数増加にともない校地を移転して新校舎が建てられるなど、今でこそ休校中ですが、当時は多くの児童が通っていました。

市内の小中学校には、この他にも学校で使われていたチャイム用の鐘、日誌、写真など多くの資料が残されています。時代の変化とともに学校教育がどのように変化したかを知るための手掛かりとなる財産を大切にしていきたいですね。

芳井歴史民俗資料館では、10月11日（土）から12月7日（日）まで、第45回特別展「井原の近代教育」を開催しています。紹介した鬼瓦の他、さまざまな資料を展示しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

芳井歴史民俗資料館（TEL 72-1324）

いばらぎ生活リズム向上プロジェクト

食べて 動いて よく寝よう！

子どもの生活リズムの向上と改善に取り組み、意欲や学力や体力の向上、情緒の安定を図ることを目的としています。

生活調査アンケートの実施と調査結果のフィードバック

市内の保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校に依頼して、生活の実態調査（アンケート）を行いました。そして、子ども達の抱える問題を、各学学校園に調査結果とともに情報提供し、課題の解決に向けて市を挙げて取り組んでいます。



また、先生や保護者、子ども達に向けて、生活習慣の大切さ、課題の解決策を伝える会を実施しています。

研修会やイベント

大人が、子どもの成長における生活習慣の重要性に気づき、責任を果たしていくことの大切

さを再確認するために各種研修会を実施しています。

専門家の講演会に加え、市内の幼稚園・小学校・中学校の実践発表を行ったり、教職員や保育士を対象とした研修会も開催して、学校園に役立つ情報を提供しています。

また『親子でレッツ・ふれあい体操』のように、親子で一緒に動かし機会を増やしていきます。

啓発活動

各学学校園を通じてPR紙を保護者の方に配ったり、啓発グッズやキャラクターの入ったのぼりなどを活用して啓発を進めています。現在は、幼児用の紙芝居の作成を進めています。



井原市立高等学校は、平成27年4月から新校舎で授業を始めます。

発行 井原市教育委員会
編集 教育委員会庶務課
715-8601
井原市井原町311番地1
TEL 0866-62-9531
FAX 0866-62-0332

